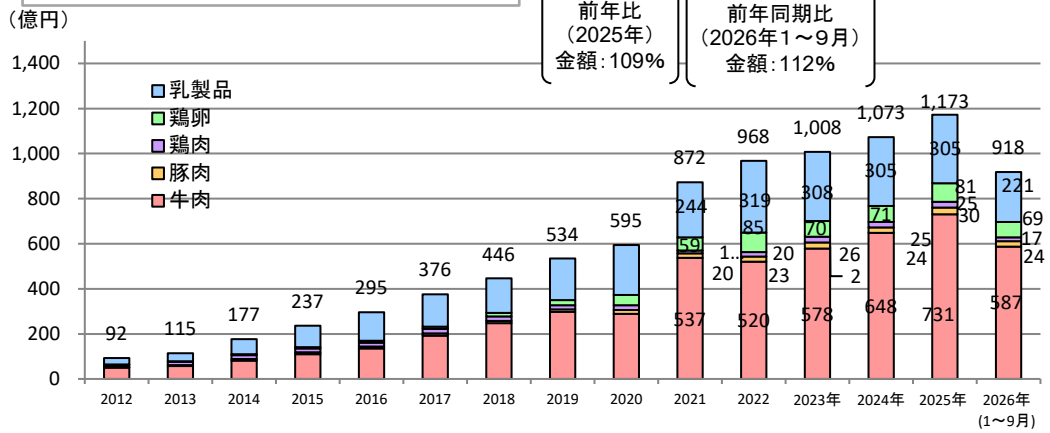
畜産物の輸出について

- 2025年の畜産物の輸出実績は1,173億円で、2012年以降連続して増加。うち牛肉が最大の731億円、全体の約60%を占める。
- 2020年４月に「農林水産物・食品輸出本部」を設置し、同年12月に「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を策定。政府一体となって更なる輸出拡大に取り組む。

日本産畜産物の輸出実績



※ 2021年以前は加工品を除く。

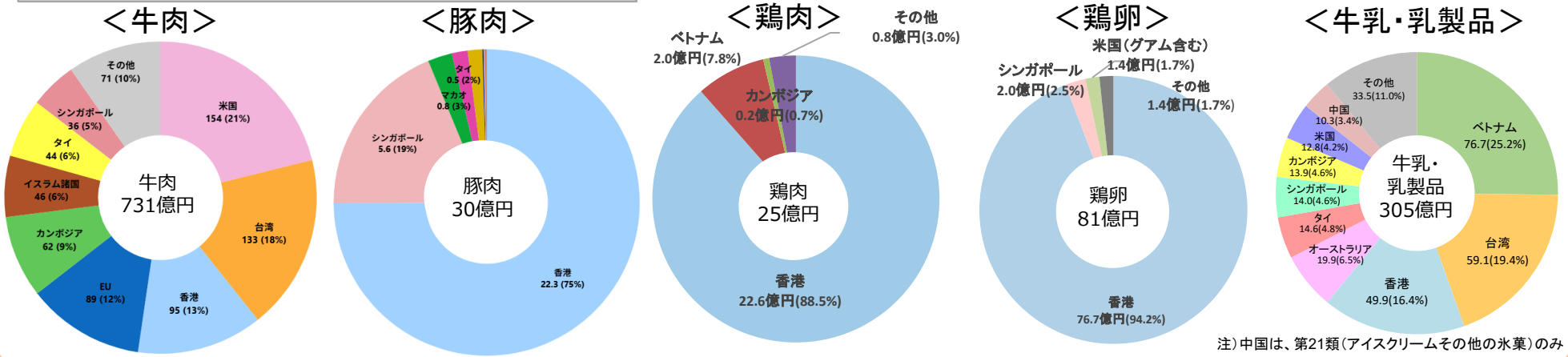
農林水産物・食品輸出本部の創設

令和２年４月に設置された農林水産大臣を本部長とする「農林水産物・食品輸出本部」において、輸出促進に関する基本方針を定め、実行計画（工程表）の作成・進捗管理を行うとともに、政府一体となった輸出の促進を図り、
・輸入規制の緩和・撤廃に向けた輸出先国との協議の加速化
・輸出向けの施設整備と施設認定の迅速化　　等に取り組む

2030年輸出目標額

牛　肉	：	1,132億円	鶏　肉	：	44億円
豚　肉	：	52億円	鶏　卵	：	109億円
			牛乳・乳製品	：	883億円

品目毎の国・地域別輸出実績（2025年）



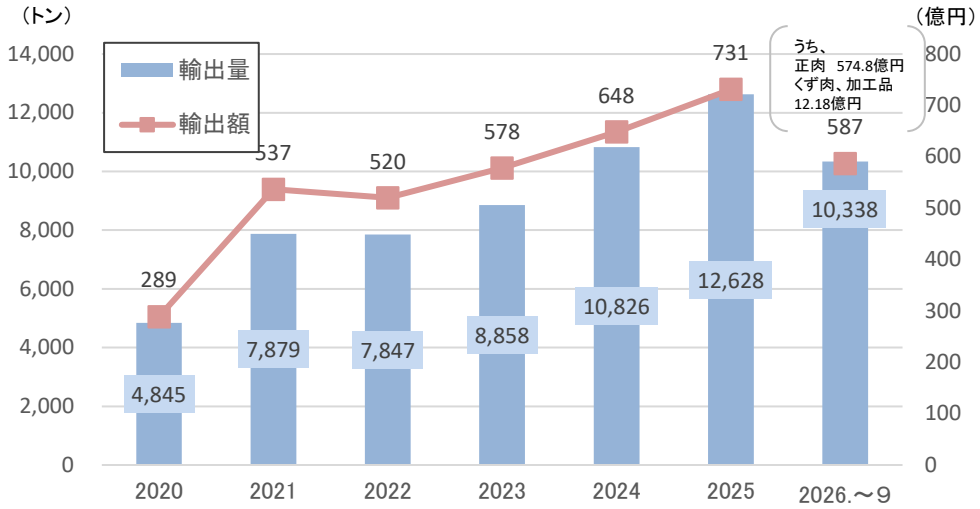
注）中国は、第21類（アイスクリームその他の氷菓）のみ

牛肉の輸出について

最近の輸出実績※

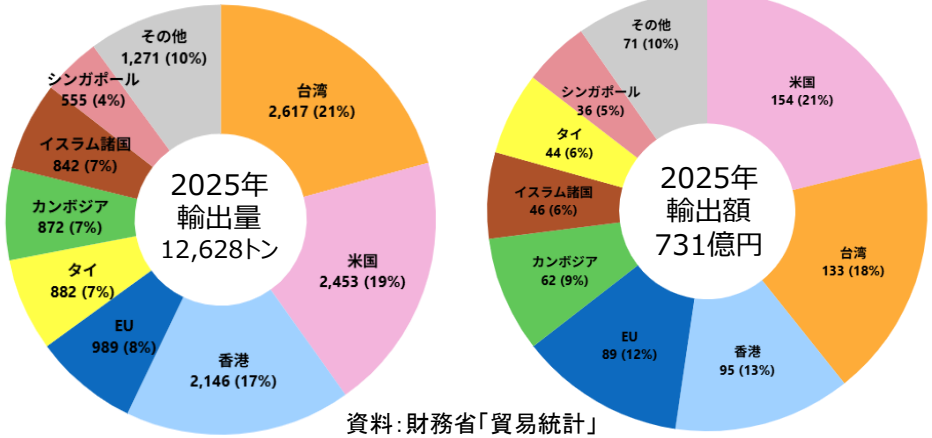
前年比（2025年）金額：113% 数量：117%

前年同期比（2026年1～9月）金額：120% 数量：124%



※ 正肉、牛くず肉、加工品の合計。ただし、2021年以前は加工品を除く。

牛肉の国・地域別輸出実績



資料：財務省「貿易統計」

2030年輸出目標：1,132億円

○ 輸出可能国・地域
香港、台湾、シンガポール、タイ、ベトナム、米国、EU、英国、カナダ、オーストラリア、マレーシア、インドネシア、UAE、ロシア、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、クウェート　等

○ 輸出解禁協議中の国
中国、韓国、ブルネイ、パラグアイ、ウクライナ

＜輸出先国・地域別の施設認定状況＞　（2026年10月末現在）

	香港	台湾	米国	シンガポール	EU	タイ	マカオ
施設数	15	30（1）	17	22（1）	14	87	79

※（）内の数値は、非併設処理施設施設の認定数であり、表中の施設数には含まない

輸出拡大実行戦略に定める主な取組

○ 輸出先国の規制や市場ニーズに合わせた生産

○ 畜産農家等・食肉処理施設・輸出事業者が生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る「コンソーシアム」を産地で構築

○ 輸出先国の求める衛生基準に適合した食肉処理施設の整備・認定迅速化

○ 輸出先国の多様化・複雑化するカットオーダーに対応するための省力化機械の導入等の取組

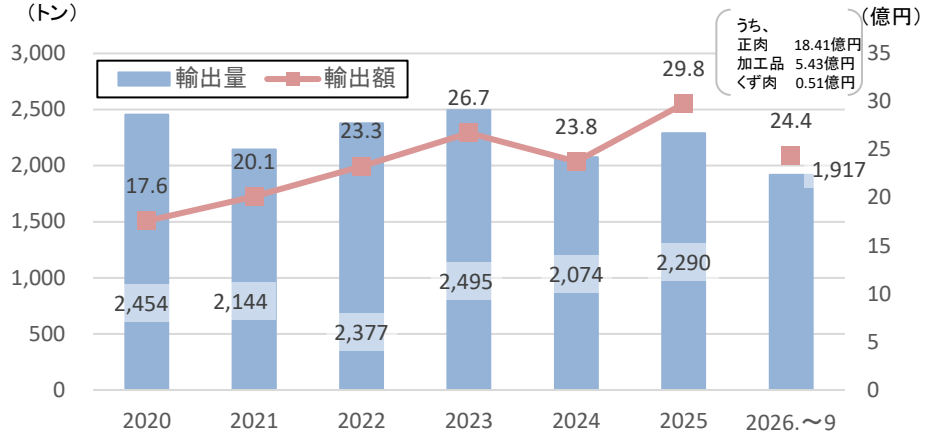
○ 和牛肉の認知度向上、現地系商流への参入のための産地やオールジャパンでの戦略的なプロモーション

豚肉の輸出について

最近の輸出実績※

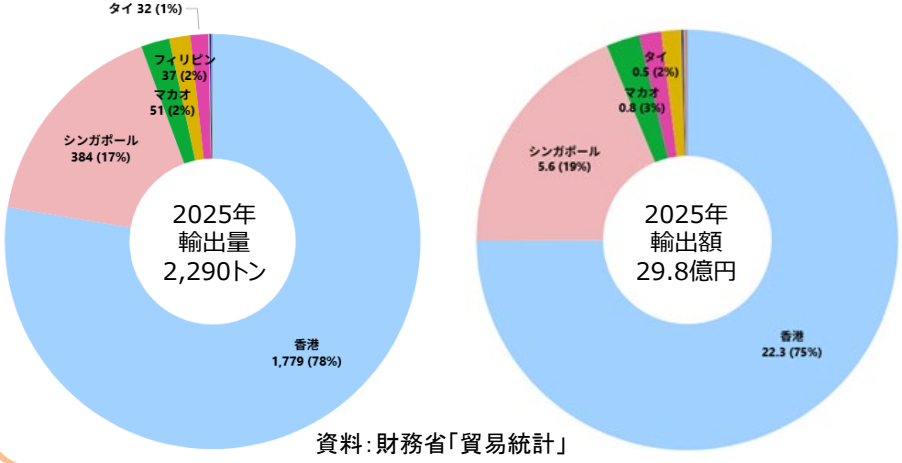
前年比（2025年）
金額：125%
数量：110%

前年同期比（2026年1～9月）
金額：116%
数量：120%



※ 正肉、豚くず肉、加工品の合計。ただし、2021年以前は加工品を除く。

豚肉の国・地域別輸出実績



資料：財務省「貿易統計」

2030年輸出目標：52億円

○ 輸出可能国・地域
香港、シンガポール、タイ　等

＜輸出先国・地域別の豚肉輸出施設認定状況＞

（2026年10月末現在）

	香港	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	ベトナム	タイ
施設数	113	12	38	4

輸出拡大実行戦略に定める主な取組

○ 畜産農家等・食肉処理施設・輸出事業者が生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る「コンソーシアム」を産地で構築

○ 輸出先国の求める衛生基準に適合した食肉処理施設の整備・認定迅速化

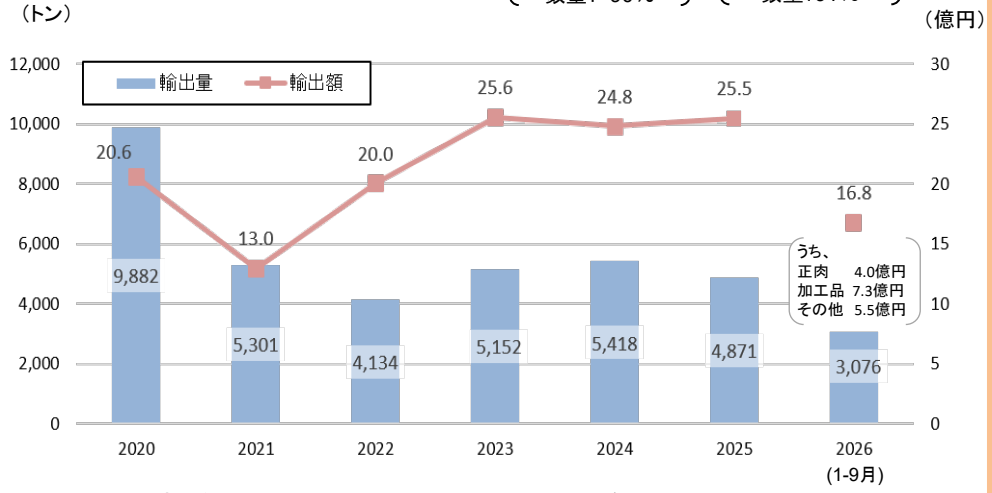
○ 日本産豚肉及び豚肉加工品の認知度向上、現地系商流への参入のための産地やオールジャパンでの戦略的なプロモーション

日本豚 JAPANESE PORK

鶏肉の輸出について

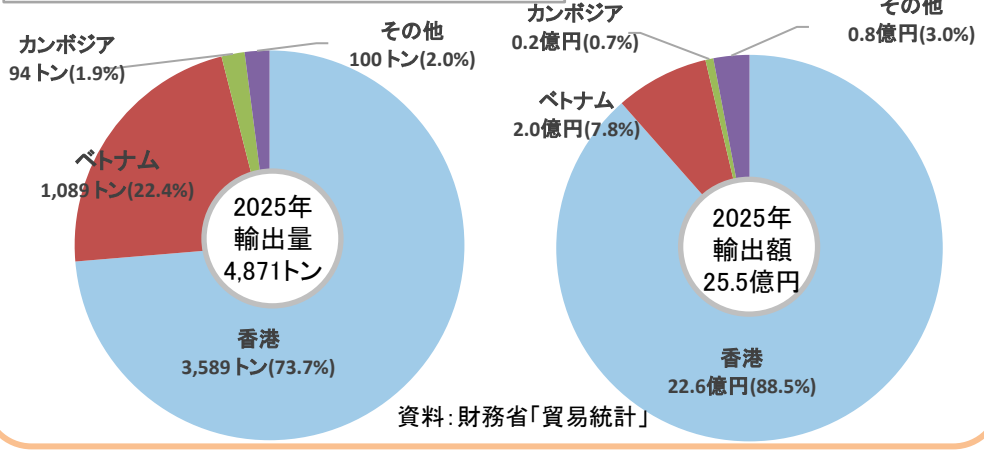
最近の輸出実績※

（前年比（2025年）金額：103%　数量：90%）　（前年同期比（2026年1~9月）金額：97%　数量：91%）



※ 正肉、その他（丸鶏、手羽・もみじ等）、加工品の合計。ただし、2021年以前は加工品を含まない。

鶏肉の国・地域別輸出実績



資料：財務省「貿易統計」

2030年輸出目標：44億円

- ○ 輸出可能国・地域
  香港、ベトナム、カンボジア、シンガポール、EU、マカオ　等
- ○ 輸出解禁協議中の国・地域
  中国　等

＜輸出先国・地域別の施設認定状況＞（2026年10月末現在）

	香港	ベトナム	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	マカオ
施設数	71	67	2	25

輸出拡大実行戦略に定める主な取組

- ○ 低コスト化の実現による価格競争力の強化や、輸出先国の求める高度な衛生水準に対応する輸出認定施設を増加
- ○ 生産者・食鳥処理施設・輸出事業者が生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る「コンソーシアム」を産地で構築
- ○ 輸出先国が要求する高度な衛生水準への対応した食鳥処理施設の整備
- ○ 日本産鶏肉の認知度向上、現地系商流への参入のための産地やオールジャパンでの戦略的なプロモーション

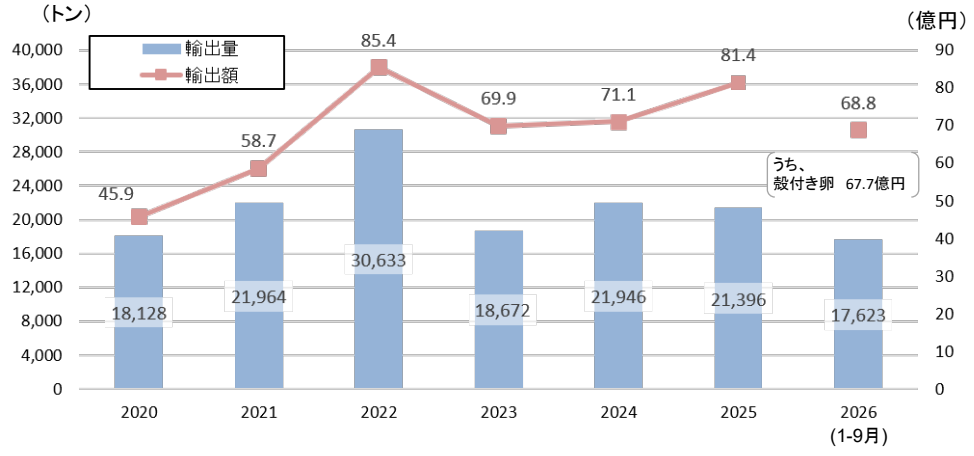
JAPAN CHICKEN
国産チキン
あんしんも、おいしさも。

鶏卵の輸出について

最近の輸出実績※

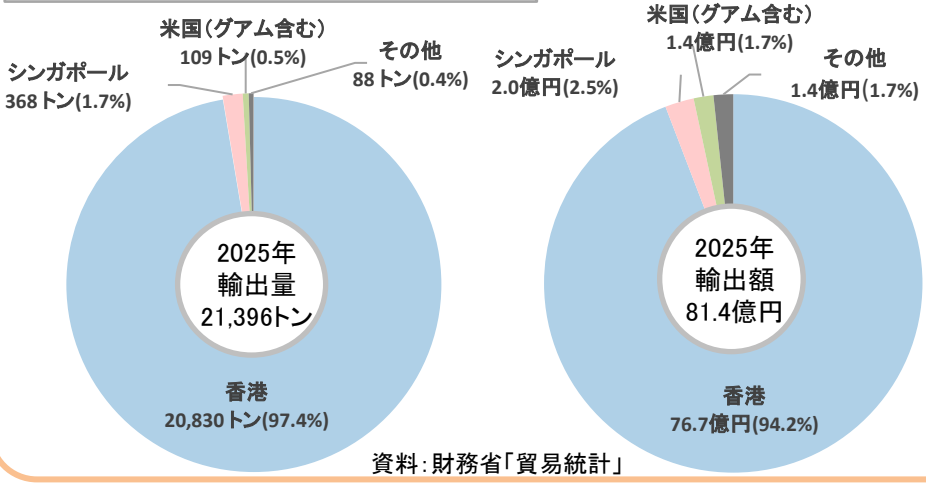
前年比（2025年）金額：115% 数量：97%

前年同期比（2026年1~9月）金額：116% 数量：112%



※　殻付き卵、加工品の合計。ただし、2021年以前は加工品を含まない。

鶏卵の国・地域別輸出実績



資料：財務省「貿易統計」

2030年輸出目標：109億円

○　輸出可能国・地域
香港、シンガポール、台湾、米国、EU等

○　輸出解禁協議中の国・地域
中国　等

＜輸出先国・地域別の施設認定状況＞（2026年10月末現在）

	香港（殻付き卵）	香港（卵製品）	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ（殻付き卵）	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ（卵製品）	EU（卵製品）
施設数	260	42	16	6	1

輸出拡大実行戦略に定める主な取組

○　生産者・鶏卵処理施設・輸出事業者が生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る「コンソーシアム」を産地で構築

○　農場・鶏卵処理施設での高度な衛生管理への対応等、輸出先国が要求する条件に対応

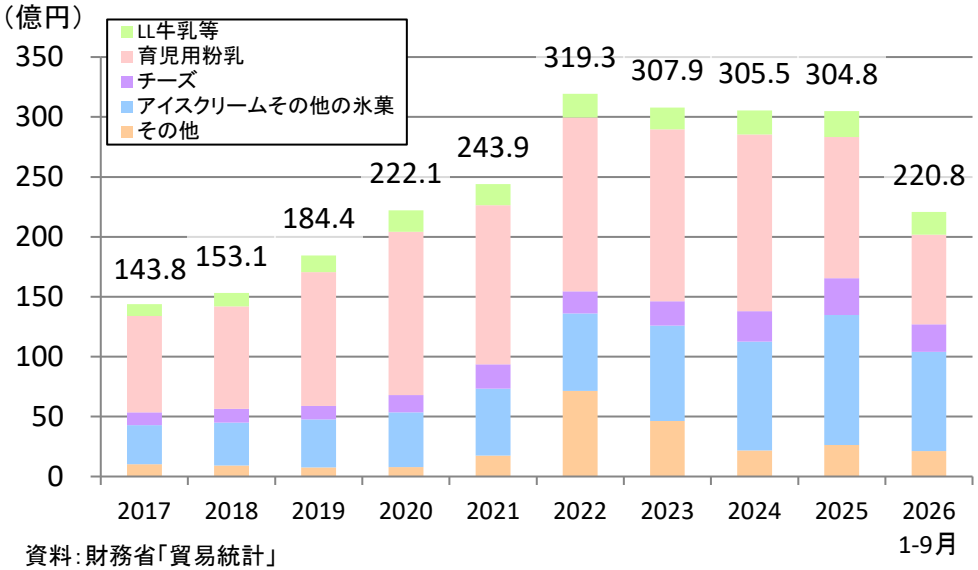
○　日本産鶏卵の認知度向上、現地系商流への参入のための産地やオールジャパンでの戦略的なプロモーション

牛乳・乳製品の輸出について

日本産牛乳・乳製品の輸出実績

前年比（2025年）99.8%

前年同期比（2026年1-9月）95.0%



資料：財務省「貿易統計」

2030年輸出目標:883億円

○ 輸出可能国・地域
ベトナム、香港、台湾、シンガポール、韓国（チーズ、アイスクリーム等）、タイ、米国、カナダ、EU、中国（第21類（アイスクリームその他の氷菓）のみ） 等

○ 輸出解禁協議中の国・地域
中国（第4類（酪農品）、第19類（ミルクの調製品））、インド、インドネシア、韓国（ヨーグルト等）

輸出拡大実行戦略に定める主な取組

○ オールジャパンでの日本産牛乳・乳製品の認知度向上に向けた、日本畜産物輸出促進協会によるプロモーション

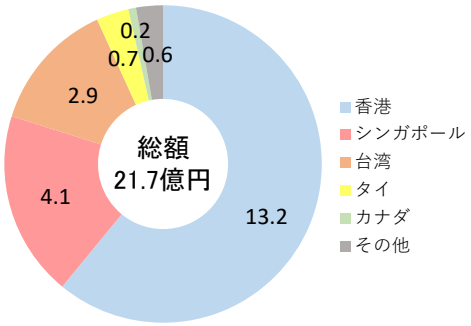
○ 生産者・乳業者・輸出事業者が生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る「コンソーシアム」を産地で構築

JAPAN MILK & DAIRY PRODUCTS

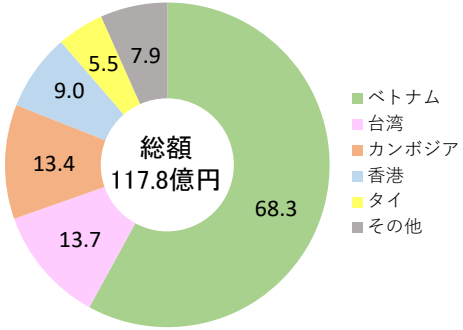
主要品目の国・地域別輸出実績（2025年）

資料：財務省「貿易統計」

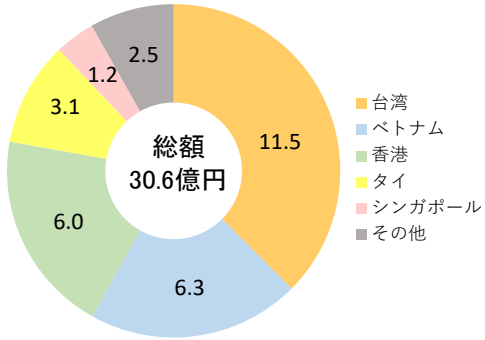
LL牛乳等



育児用粉乳



チーズ



アイスクリームその他の氷菓

